



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 K&Oエナジーグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1663 URL <http://www.k-and-o-energy.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶田 直  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部マネージャー (氏名) 新井 賢太郎 (TEL) 0475-27-1011  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年9月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	34,032	4.2	2,736	25.3	2,883	16.8	1,869	7.9
2018年12月期第2四半期	32,651	5.0	2,184	△5.1	2,469	△1.8	1,732	△2.1

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 1,883百万円(27.4%) 2018年12月期第2四半期 1,479百万円(△21.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	68.93	68.49
2018年12月期第2四半期	63.47	63.06

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	91,571	77,715	81.3
2018年12月期	91,956	76,193	79.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 74,441百万円 2018年12月期 72,962百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2019年12月期	—	14.00			
2019年12月期(予想)			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,900	3.3	3,000	7.5	3,300	1.4	2,500	11.7	92.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	30,336,061株	2018年12月期	30,336,061株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	3,210,488株	2018年12月期	3,234,282株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	27,118,504株	2018年12月期2Q	27,300,022株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高水準の企業収益や雇用・所得環境の改善に支えられた緩やかな回復が続いたものの、輸出や生産に弱さが見られるとともに、米中間の通商問題や海外経済・政策の不確実性により、先行きの更なる不透明感の高まりも懸念されました。

こうしたなか、当第2四半期連結累計期間の売上高については、主に建設事業の売上高が増加したことにより、4.2%増加の34,032百万円となりました。また、建設事業の利益の増加やヨウ素販売価格の上昇などにより、営業利益については25.3%増加の2,736百万円、経常利益については16.8%増加の2,883百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については7.9%増加の1,869百万円となりました。

なお、増減の比較については、全て「前年同期」との比較であります。また、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### <ガス事業>

輸入エネルギー価格の影響により一部のガス販売価格が上昇したものの、発電用途でのガス販売量が減少したことなどにより、売上高については前年同期並の29,791百万円となりました。一方、家庭向けのガス販売量の増加などにより、営業利益については3.9%増加の3,139百万円となりました。

#### <ヨウ素事業>

国際市況が引き続き回復基調で推移し、ヨウ素販売価格が上昇したことなどにより、売上高については12.8%増加の1,963百万円、営業利益については22.8%増加の730百万円となりました。

#### <その他>

連結子会社の取得やグループ企業再編の影響によって建設事業の売上高が増加したことなどにより、売上高については106.0%増加の2,277百万円、営業利益については807.8%増加の355百万円となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

#### <資産の部>

流動資産は、ガス需要の季節的変動による受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ1.0%減少の34,499百万円となりました。また、固定資産は、関係会社への貸付金の増加などがありましたが、建物及び構築物や機械装置及び運搬具の減価償却が進んだことなどもあり、前連結会計年度末に比べ0.1%減少の57,072百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.4%減少の91,571百万円となりました。

#### <負債の部>

流動負債は、ガス需要の季節的変動による支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ22.5%減少の6,924百万円となりました。また、固定負債は、設備投資資金の調達による長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1.5%増加の6,931百万円となりました。以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ12.1%減少の13,856百万円となりました。

#### <純資産の部>

純資産合計は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2.0%増加の77,715百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

## ＜現金及び現金同等物の四半期末残高＞

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、期首に比べ38.1%減少の14,253百万円となりました。

## ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより、4,030百万円の収入（前第2四半期連結累計期間に比べ16.9%減少）となりました。

## ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

有形固定資産や有価証券及び投資有価証券の取得などにより、12,581百万円の支出（前第2四半期連結累計期間に比べ94.6%増加）となりました。

## ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

配当金の支払いなどにより、214百万円の支出（前第2四半期連結累計期間に比べ69.5%減少）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想については、発電用途でのガス販売量の減少などにより売上高の減少を見込んでおります。一方、営業利益および経常利益については工業用のガス販売量の増加やヨウ素販売価格の上昇などにより増加を見込んでいるものの、親会社株主に帰属する当期純利益については固定資産の減損処理による特別損失の計上などにより減少を見込んでおります。以上により、2019年7月25日付の「特別利益（投資有価証券売却益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました連結業績予想を下記の通り修正しております。

なお、配当予想については変更ありません。

## 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 69,000	百万円 2,500	百万円 2,850	百万円 3,048	円 銭 112.41
今回修正予想(B)	66,900	3,000	3,300	2,500	92.18
増減額(B-A)	△2,100	500	450	△548	—
増減率(%)	△3.0	20.0	15.8	△18.0	—

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,691	13,423
受取手形及び売掛金	7,000	5,442
有価証券	1,872	13,200
たな卸資産	1,492	1,648
その他	789	798
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	34,832	34,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,276	11,883
機械装置及び運搬具（純額）	17,445	16,992
その他（純額）	10,133	10,517
有形固定資産合計	39,855	39,393
無形固定資産		
1,853	1,853	1,801
投資その他の資産		
投資有価証券	13,313	13,280
その他	2,149	2,644
貸倒引当金	△47	△48
投資その他の資産合計	15,414	15,876
固定資産合計	57,123	57,072
資産合計	91,956	91,571
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,729	3,173
引当金	27	26
その他	4,174	3,723
流動負債合計	8,931	6,924
固定負債		
退職給付に係る負債	4,968	4,954
引当金	130	151
その他	1,732	1,825
固定負債合計	6,830	6,931
負債合計	15,762	13,856

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	14,291	14,308
利益剰余金	52,340	53,829
自己株式	△1,687	△1,675
株主資本合計	72,944	74,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	380
退職給付に係る調整累計額	△436	△402
その他の包括利益累計額合計	18	△22
新株予約権	221	217
非支配株主持分	3,010	3,057
純資産合計	76,193	77,715
負債純資産合計	91,956	91,571

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	32,651	34,032
売上原価	25,913	26,663
売上総利益	6,738	7,369
販売費及び一般管理費	4,554	4,632
営業利益	2,184	2,736
営業外収益		
受取配当金	189	72
受取賃貸料	69	63
その他	86	65
営業外収益合計	345	202
営業外費用		
賃貸費用	12	12
寄付金	34	30
その他	13	11
営業外費用合計	60	54
経常利益	2,469	2,883
特別損失		
固定資産除却損	36	70
その他	1	12
特別損失合計	38	82
税金等調整前四半期純利益	2,431	2,801
法人税等	640	879
四半期純利益	1,790	1,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,732	1,869



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,790	1,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△354	△72
退職給付に係る調整額	42	33
その他の包括利益合計	△311	△38
四半期包括利益	1,479	1,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,413	1,828
非支配株主に係る四半期包括利益	65	54

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,431	2,801
減価償却費	2,222	2,268
受取利息及び受取配当金	△203	△87
支払利息	9	7
売上債権の増減額 (△は増加)	1,089	1,355
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△74	△156
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,056	△1,555
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△43	△13
その他の引当金の増減額 (△は減少)	17	18
固定資産除却損	9	39
その他	678	△295
小計	5,079	4,382
利息及び配当金の受取額	206	88
利息の支払額	△9	△7
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△423	△433
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,852	4,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,757	△2,179
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△16,785	△24,964
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	14,153	15,566
その他	△1,077	△1,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,466	△12,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	505	465
長期借入金の返済による支出	△260	△269
自己株式の取得による支出	△559	△0
配当金の支払額	△382	△377
その他	△7	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△704	△214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,319	△8,765
現金及び現金同等物の期首残高	19,451	23,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,132	14,253

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	29,805	1,740	31,546	1,105	32,651	—	32,651
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	36	94	131	0	132	△132	—
計	29,842	1,835	31,677	1,106	32,783	△132	32,651
セグメント利益	3,022	595	3,617	39	3,657	△1,472	2,184

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,472百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,608百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	29,791	1,963	31,755	2,277	34,032	—	34,032
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	45	94	140	59	199	△199	—
計	29,837	2,058	31,895	2,336	34,232	△199	34,032
セグメント利益	3,139	730	3,870	355	4,226	△1,489	2,736

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,489百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,569百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(投資有価証券売却益の計上)

当社は、2019年7月25日開催の取締役会において、保有する投資有価証券の一部について発行会社の実施する自己株式取得に応じて売却することを決議し、2019年7月31日に売却いたしました。これに伴い、2019年12月期第3四半期連結会計期間に投資有価証券売却益として1,364百万円を特別利益に計上いたします。

(減損損失の計上)

当社は、2019年7月31日に、当社の連結子会社である関東天然瓦斯開発㈱が保有する社宅の一部について、建物の老朽化が進んでいること及び利用者の増加が見込まれないことにより、廃止することを決定いたしました。これに伴い、2019年12月期第3四半期連結会計期間に固定資産（帳簿価額734百万円）の一部に減損損失が発生する見込みですが、詳細については精査中であります。